

十勝管内

家庭教育 サポート企業通信

第6号



本別高校における 学校と地域との連携



前回の通信では、なぜ今、【学校と地域の連携が必要なのか】について紹介しました。今回は、学校と地域との連携による取組事例について、北海道本別高等学校での地域人材と連携した授業（総合的な探究の時間「とち創生学」）の様子を紹介します。



北海道本別高等学校 総合的な探究の時間「とち創生学」

北海道本別高等学校では平成31年4月より、①正解のない課題に挑戦し探究し続ける力の育成、②次世代の十勝をけん引し地域を支える力の育成、③グローバルな視点をもって地域を支える人材の育成、を目標として、【総合的な探究の時間「とち創生学」】を開始しました。

令和2年4月、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持ちながら学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会が設置されたことを契機に、「とち創生学」における探究活動を学校運営協議会との協働により実施することになり、企業や役場の職員等の地域人材が「コーチ」として、生徒の活動をサポートする体制を整え、授業を展開しています。

総合的な探究の時間「とち創生学」

生徒



- ・生徒の探究テーマ別のグループに「コーチ」がつき、グループワークをサポートする
- ・「コーチ」は、授業でのサポートや、放課後、長期休業中の生徒の活動もサポートしている

コーチ



- ・総合的な探究の時間「とち創生学」の推進
- ・学校運営協議会における教育活動支援策の検討

本別高校

- ・学校と地域をつなぐ役割
- ・生徒の学習活動のテーマに合わせた地域人材の人選や連絡、調整

コーディネーター

- ・企業や役場の職員が「コーチ」として生徒の学習活動へ参画

企業・役場



高校に聞きました！！ 学校と地域との連携において、地域の方々に期待することを教えてください

生徒は地域の方と対話や議論を通じて、地域を理解し、地域の課題を明確にでき、探究的な学びを深めることができます。生徒の自由な発想と、生徒の視点から出される疑問や課題をもとに、生徒と地域の方との協働により解決策など検討することによって、生徒の成長はもちろんのこと、地域活性化の一助としていただけられることを期待します。【北海道本別高等学校】

【発行・お問合せ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班（田尾・山崎）
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：(0155) 26-9243（直通） 平日 8:45～17:30
E-mail：yamazaki.kouji@pref.hokkaido.lg.jp